

お茶大での交換留学体験

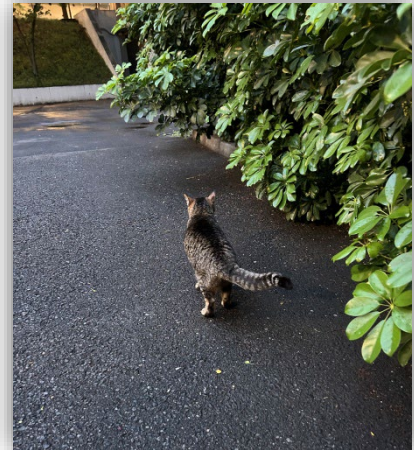
開南大学

黄菱仔（コウアイユ）

今学期は留学生向けの授業と大学の正規科目を受講しました。印象に残った2つの授業は、荻原先生のウェブサイト作成と竹村先生の日本語学通論です。

荻原先生のウェブサイト作成の授業では、プレゼンテーションの練習や創造性の試練があって、自分のウェブサイトをより完成度の高いものにするために、他人の意見を聞くことも必要でした。そして、竹村先生の日本語学通論では、日本語母語話者の視点から日本語の歴史や変化などの解析したので、初めて接触する知識が多かったです。このような留学生向けの特別講座ではあまり見かけない授業内容もあり、クラスメイトもほとんど日本人なので、苦勞するよりも、これまで接触してこなかったものを学べるのが嬉しいです。

多くの交流イベントにも参加し、共通の趣味があり、話題がいっぱいある新しい友達と出会う機会がありました。また、茶道の体験やアニメや漫画のキャラクターを描く漫画教室などに技術を必要とする活動にも参加しました。参加する際に、お茶大生だけじゃなく、留学生の皆様も要領が良い人だと感じました。時々にも学校内の猫たちとにゃんにゃんで話したら、癒されました。



春休みやゴールデンウィークには、東京以外の地域を訪れました。関西で友達に会い、一緒にユニバで遊んだり、奈良の鹿に餌をやったり、着物を着て清水寺を巡ったりしました。当時、雪が降り、美しい写真を撮ることもできました。そして、6月にはディズニーシーの新エリアのファンタジースプリングスを訪れて、一番好きなパークエリアには入れなかったのは残念でしたが、この悔しい気持ちがあったので、次回の日本での生活をますます楽しみにしています。

最後は、交換留学生としてお茶大で10ヶ月間過ごし、助けてくれた皆様に感謝を伝えたいと思います。まずは、指導教官の阿部尚文先生に、毎月の振り返りシートの確認とアドバイスをしていただき、本当にありがとうございました。次に、国際センターの大野先生と岩崎先生と萩原先生にも感謝したいです。お茶大での手続きや問題の解決において、ご協力いただきましたことに心から感謝しています。また、音羽館の管理人の皆様にも感謝したいです。いつも明るい声で声をかけてくださり、日本での生活が心強くなりまして、ありがとうございました。そして、チューターのきぬちゃんにも感謝したいです。手続きに困っている時に助けていただき、本当にありがとうございました。一度しか遊ばなかったけれど、いろんな話をするのができてとても楽しかったです。最後に、私が受けた授業の先生方やクラスメイトにも感謝したいです。様々な日本の授業を経験させていただき、本当にありがとうございました。

9月の終わりから8月の始まりまで、10ヶ月間を通じて、様々な授業、文化交流活動に参加したり、観光スポットや祭りなどを巡ったりして、充実した交換留学生の生活を送ることができたと思います。